

法 学 号 外
平成 28 年 5 月 18 日

各 私 立 学 校 長
 (高・特)
 高等課程を置く各私立専修学校長 } 様

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

第 15 回「聞き書き甲子園」について

このことについて、別添のとおり通知がありましたので、お知らせします。

なお、応募を希望される場合は、実施要領を確認のうえ、所定の書類を平成 28 年 7 月 1 日（金）までに事務局あて直接申し込み願います。

【担当】私学振興担当 中村

電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

事務連絡
平成28年5月12日

各都道府県私立高等学校等主管課 御中

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課

第15回「聞き書き甲子園」について（依頼）

標記事業は、全国の教育関係者や林業・水産業関係者をはじめ、民間団体・企業の協力を得て、全国の高校生が、森や海・川の名人の知恵や生活技術、ものの考え方や生き方を「聞き書き」という手法で記録し、社会に広くアピールする取組です。

本年度も、別添文書のとおり実施されますので、本事業の趣旨を御理解いただき、参加する高校生の推薦や事業の周知等について御協力頂きますようお願いいたします。

なお、本事務連絡は、各都道府県教育委員会の高等学校主管課、生涯学習・社会教育主管課宛にもお送りしておりますが、私立高等学校に在籍する皆様にも広く御参加頂けるよう、貴課宛にもお送りしておりますこと申し添えます。

<参考>

内容：第15回「聞き書き甲子園」

主催：第15回聞き書き甲子園実行委員会

（農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、認定NPO法人共存の森ネットワーク）

事務局：（認特）共存の森ネットワーク内 聞き書き甲子園実行委員会事務局
（TEL：03-6432-6580）

※ 実施要領の内容、推薦方法等に関するお問い合わせは、上記事務局あてに御連絡ください。



<本件担当>

文部科学省生涯学習政策局生涯学習推進課
民間教育事業振興室民間教育事業第二係
（担当：為近）

TEL：03-5253-4111（内線2642）

平成28年5月12日

各都道府県私立高等学校等主管課 御中

聞き書き甲子園実行委員会

「第15回 聞き書き甲子園」について（依頼）

時下、益々御清祥のこととお慶び申し上げます。平素より「聞き書き甲子園」へのご理解・ご協力を賜り誠にありがとうございます。

本事業は、農林水産省と文部科学省の連携により、地域の生活様式・文化・伝統・芸能など、今まさに忘れられようとしている山の暮らしや埋もれかけている生業・技能を次の時代に語り受け継ぐため、高校生が「森の名手・名人」「海・川の名人」※¹にじかに接し、若者らしいみずみずしい感性と感動とともに、「聞き書き」※²を行う事業として、平成14年度から実施しております。現在は農林水産省、文部科学省、環境省、（公社）国土緑化推進機構、（公社）全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、（認特）共存の森ネットワークの7者からなる実行委員会で当事業を主催しています。

つきましては、ポスターおよびチラシをお送りしますので、域内私立高等学校への周知をお願いいたします。配布用のポスターおよびチラシは、各都道府県林務課宛にお送りし、発送も林務課から行って頂きますので、域内私立高等学校の住所録を林務課まで御提供頂きますとともに、域内高等学校への周知される際には、林務課と連名で通知してくださいようをお願いいたします。なお、各都道府県林務課には、この旨別途、御連絡させて頂いております。

何卒、よろしくお願い申し上げます。

※1 森林、海、川にかかわる分野において優れた技や知見をもってその業を究め、他の生活者の模範となっている達人

※2 「聞き書き」とは、語り手の話を聞き、その言葉を記録することにより、語り手の技や人柄などを表現する手法

<本件問い合わせ先>

（認特）共存の森ネットワーク内 聞き書き甲子園実行委員会事務局（森山・吉野）

TEL:03-6432-6580 FAX:03-6432-6590 MAIL:info@foxfire-japan.com

「第15回聞き書き甲子園」 実施要領

【趣旨】

国土の7割を森林が占め、四方を海に囲まれた日本において、人々は古くから森や海・川の自然を持続可能なかたちで利用し、自然との日常の関わりの中から生活様式・文化・伝統・技能等を育き、受け継いできました。

しかし、都市化が進み多くの若者が自然との関わりを失う一方、農山漁村では過疎化・高齢化が進み、農林漁業活動が低迷する今日、先人から受け継がれてきた知恵や生活技術も失われようとしています。

地球環境の保全のため、私たち一人一人の行動が求められている今、私たちは、今まさに忘れられようとしている先人から受け継いできた知恵や生活技術を改めて見だし、地域の生活様式・文化・伝統・技能等を次世代に引き継いでいかなければなりません。

こうしたことから、全国の高校生が『森の名手・名人』や『海・川の名人』を訪ね、名手・名人の知恵や生活技術、ものの考え方や生き方を「聞き書き」という手法を用いて記録し、社会一般に広くアピールする「聞き書き甲子園」を始めました。

『森の名手・名人』や『海・川の名人』への「聞き書き」を通して、地域の自然と人との関わりをより広い視野で捉え、持続可能な社会づくりを担う高校生の育成を目指します。

(注) この取組は、先人たちから受け継いだ知恵や生活技術を改めて見出し、次世代に継承することを通じて、人と自然が共存する新たな価値観とライフスタイルを提唱し、持続可能な社会づくりに貢献する「もりのくに・にっぽん運動」の一環として実施しています。

「もりのくに・にっぽん運動」では、「聞き書き甲子園」の実施とあわせて、森や川・海の自然を守り育て、その恵みを暮らしに活かすための優れた知恵や生活技術を先人から受け継いできた人々を「森の名手・名人」「海・川の名人」として選定・表彰しています。

【主催】

第15回聞き書き甲子園実行委員会

(農林水産省、文部科学省、環境省、公益社団法人国土緑化推進機構、公益社団法人全国漁港漁場協会、全国内水面漁業協同組合連合会、認定NPO法人共存の森ネットワーク)

【スケジュール】

平成 28 年

5 月中旬 募集開始

7 月 1 日（金）募集締切り

7 月下旬 参加者決定

※参加決定者及び担当教諭の方へは事務局より
直接ご連絡いたします。

8 月 11 日（木）～14 日（日） 事前研修（於：東京）

※「聞き書き」の手法を学ぶ講義、実習等を実施。

8 月下旬 取材先名人決定

※取材先は原則、同都道府県内の名人と組合せをいたし
ますが、まれに他都道府県へ取材いただく場合もあり
ます。その場合は事前に高校生へ確認いたします。

9 月～12 月 取材・「聞き書き」レポート作成（於：全国）

※取材は原則、高校生一人で行っていただきます。

平成 29 年

1 月初旬 レポート提出締切り

3 月 18 日（土）フォーラム開催（於：東京）

※参加高校生と名人による体験談、基調講演等を通して 1
年間の成果報告を実施。一般公開。

【募集要領】

1. 参加資格：参加資格は、高等学校等※に在籍する生徒とします。なお、これまでに「聞き書き甲子園」に参加した経験のある方は、参加いただくことができません。

※定時制、通信制の高等学校、高等専修学校、特別支援学校（盲学校、ろう学校及び養護学校）、フリースクールの高等部等に在籍する生徒も含む。

2. 募集定員：「森の名手・名人」への聞き書き もしくは
「海・川の名人」への聞き書き 計 100 名
（各都道府県教育委員会からの推薦者を含む）

3. 参加費用：無料 ※下記の費用について、実行委員会が負担します。
但し、先生が引率される場合、また、保護者の方が同伴される場合の費用は、各自ご負担いただきます。

- ① 「事前研修」：研修場所（東京）までの往復旅費、研修期間中の宿泊費
- ② 「聞き書き取材」：聞き書き実施場所までの往復旅費（2 回分）
- ③ 「フォーラム」：参加者のフォーラム開催場所（東京）までの往復旅費、宿泊費

4. 応募方法

参加希望者は、所定の申込用紙に必要事項を記入し、参加希望動機を書いた作文（原稿用紙 1 枚（400 字）程度）とあわせて、7 月 1 日（金）必

着で郵送してください。

(注) 県教育委員会を通して応募する場合は、県教育委員会の締切日に
従ってください。

(注) FAX、電子メール等による応募は受け付けません。

5. 応募条件

応募に当たっては、以下の項目を全て満たしていることが条件となります。

- 「聞き書き」成果（レポート：5,000字程度）を提出できること
（成果（レポート）を提出いただかなかった場合、実行委員会が負担した経費相当額を返還いただく場合があります。）
- 平成28年8月11日（木）～14日（日）に実施する「事前研修」に参加できること
- 保護者の同意を得ていること
（参加申込書の「保護者」欄は、原則、保護者の方に記入していただくようお願いします。
また、保護者の方の押印がないものは受付できません。）
- 参加者が取材活動等を行う際のアドバイスや緊急時等における事務局と参加者との間の連絡、調整をしてもらえる担当教諭がいること
- 参加者の氏名、所属学校名等、学年が公表されることに同意すること
（記者発表資料、ホームページ等で参加者の氏名、所属学校名等、学年を公表することになりますのであらかじめご承知おきください。）
- 参加者が自ら作成した「聞き書き」成果（レポート）及び取材時に撮影した写真（動画を含む。以下同じ）並びに描写したスケッチ等について、当事業の普及のために実行委員会が御本人の許可を得ることなく使用する場合がありますことに同意すること
（ホームページ、各種政府広報等で使用することが予想されます。）
- 実行委員会等が「聞き書き研修」等の際に参加者を撮影した写真について、当事業の普及のために御本人の許可を得ることなく使用する場合がありますことに同意すること
（ホームページ、各種政府広報等で使用することが予想されます。）

【決定通知】

申込者多数の場合、参加希望動機の作文による選考を行います。選考結果は、7月末までに、参加決定者に対して直接通知します。

【申込み・問合わせ先】

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂 3-10-9 経堂フコク生命ビル3階

認定NPO法人共存の森ネットワーク内

聞き書き甲子園実行委員会事務局

TEL:03-6432-6580 FAX:03-6432-6590 E-mail:info@foxfire-japan.com



全国の高校生が森・川・海の名人を訪ね、知恵や技術、人生を聞き書きし、記録します。

15th 聞き書き甲子園



主催 聞き書き甲子園実行委員会

農林水産省/文部科学省/環境省/公益社団法人国土緑化推進機構/公益社団法人全国漁港漁場協会/全国内水面漁業協同組合連合会/認定NPO法人共存の森ネットワーク

募金協力・企業寄付 株式会社ファミリーマート 助成 日本財団

協賛・協力 トヨタ自動車株式会社/富士フィルムホールディングス株式会社/アサヒビール株式会社/京王電鉄株式会社/佐川急便株式会社/株式会社ティムコ/株式会社トンボ/株式会社長塚電話工業所/BESSフォレストクラブ/株式会社ベネッセコーポレーション/マルハニチロ株式会社/一般財団法人環境文化創造研究所/公益財団法人一ツ橋文芸教育振興会/公益財団法人損保ジャパン日本興亜環境財団

後援 全国知事会/全国市長会/全国町村会/公益社団法人経済同友会/経団連自然保護協議会

<http://www.foxfire-japan.com/>



**参加者
募集中**



ファミリーマートは「夢の掛け橋募金」を通じてこの活動を支援しています。 **FamilyMart**

15th 聞き書き甲子園

http://www.foxfire-japan.com/

募集内容

- ① 参加資格:高校生 ※定時制、通信制の高等学校、高等専修学校、特別支援学校(盲学校、ろう学校及び養護学校)、フリースクールの高等部等に在籍する生徒も含みます。
- ② 応募方法:下記の参加申込み書に必要事項を記入し、「第15回 聞き書き甲子園」への参加動機を書いた作文(原稿用紙1枚・400字程度)とあわせて、**7月1日(金)必着で、事務局宛に郵送してください。**
※FAX、メールによる応募は不可です。※参加申込み書は、聞き書き甲子園のウェブサイト上からもダウンロードいただけます。
- ③ 募集人数:「森の名手・名人」もしくは、「海・川の名人」への聞き書き100名
- ④ 参加費用:無料 ※選考結果は、7月末までに参加決定者に対して通知します。

お申込み・お問い合わせ先

〒156-0051 東京都世田谷区宮坂3-10-9 経堂フコク生命ビル3階
認定NPO法人共存の森ネットワーク内 聞き書き甲子園実行委員会事務局
TEL:03-6432-6580 FAX:03-6432-6590 E-mail:info@foxfire-japan.com

実施スケジュール

「第15回 聞き書き甲子園」は以下のスケジュールで実施します。すべてのスケジュールに参加し、レポートを完成できることが応募の条件となります。
※事前研修、名人への訪問、フォーラムに係る費用(旅費交通費)は主催者が負担します。
▶2016年7月1日:参加募集締切 ▶7月下旬:参加者決定 ▶8月11~14日:聞き書き事前研修 会場:高尾の森わくわくビレッジ(東京都)
▶9月~12月:名人を訪問、「聞き書き」取材、レポート作成 ▶2017年3月18~19日:フォーラムにて成果発表(於:東京都)

参加申込み書

参加希望者	フリガナ							
	氏名							
	年齢	歳(西暦)	年	月	日	性別	男	女
	住所	〒()			電話番号()			
E-mail								

高校	フリガナ						
	高校名	高等学校					
	高校所在地	〒()			電話番号()		
フリガナ							
担当教諭							

※注 緊急時等に事務局と高校生との連絡・調整をいただく場合があります。

交通手段	東京駅または羽田空港まで	自宅▶	
	▶東京駅または羽田空港		

※自宅から東京駅または羽田空港までの交通手段(JR、飛行機、高速バス等)を全てご記入ください。ご記入いただいた情報をもとに、8月11~14日の研修参加チケットを手配いたします。

保護者	保護者氏名 <small>※注1</small>				(印)
	住所 <small>※注2</small>	〒()		電話番号()	

※注1 「保護者氏名」欄に押印がない場合は、受理できません。また、「保護者氏名」欄は、原則として保護者本人がご記入ください。 ※注2 参加者の連絡先と異なる場合に記入してください。

■ 聞き書き甲子園を知ったきっかけを教えてください。(当てはまるものに○をしてください。)

- ポスター・チラシ(設置場所:) インターネット・SNS(サイト名:)
ファミリーマート(店内放送・レジPOP) 先生 知人・友人 その他()